

前回のあらすじ(嘘)

役人から請け負ったクエスト「魔女の元住処を解体せよ」及び
ホウキの魔物との大騒動も一件落着。

(これでようやく安心して薬品作りに励める…)

そう思っていた医師「ヴァルベル」だが事はそう上手く運ばない。

勝手に懐いた2体の魔物「ローリーローラー」は

「ばるべるさーん！ かまってかまってあそんで〜！」

と忙しくヴァルベルにちょっかいを出してくるから研究や調合の邪魔になっているし、

比較的大人しい性格の「ヴァイオレット・ブルーム」も

「人間の男を研究させてください、ついでに魔力摂取も」

と何だかイヤな雰囲気をもたせている。

唯一の安寧である人間の少女「シルヴィー」もなんだか様子がおかしい。

Backlog

「あの…お父様、甘いものって好きですか？」

「甘味や砂糖は貴重だから摂取しないようにしている。

私が食べるよりも先に、まずは子供に行き渡らせて……ぶつぶつ」

「そ、そういう話ではなくて〜!!」

また一波乱起きる予感。

ストーリー進行状況

Chapter1【邂逅】 シルヴィーとの出会い～旅館に至るまで

Chapter2【包帯】 ローリーローラーとの出会い

Chapter3【第】 ヴァイオレット・ブルームとの出会い

Chapter3.5【閑話休題1】 ◀ NOW !

キャラ紹介

ヴァルベル



各地を転々と渡り歩き、恵まれない人間や傷ついた冒険者を無償で治療している医者。人格者ではあるが表面上は無愛想で理屈っぽく怖がられがち。薬を調合したものや、ドロップアイテムなどを売買して生計を立てている。

生まれつき魔力の貯蔵量が少ないが、懐かれたローリーローラー×2、ヴァイオレット・ブルームによく魔力を吸われている。女難の相アリ。

シルヴィー



ヴァルベルに拾われた元孤児の見習い魔術師。ヴァルベルを「お父様」と呼ぶが血の繋がりは無い。命の恩人である「お父様」が好き。生まれつき魔力の貯蔵量が多く、魔物と仲良くなるのが得意。ヴァルベルには将来を期待されている。あだ名は「しるび」

ヴァイオレット・ブルーム



魔女が最期まで愛したホウキ…が人型化した魔物。魔女が得た知識や記憶を受け継いでいるため意思疎通や会話はできるが感情に乏しい。ホウキになったり人型になったりと変身能力に長けている。真顔でブラックジョークを言いがち。あだ名は「ばいおさん」

ローリーローラー



包帯の魔物。人懐っこく友好的で知能が比較的高く、意思疎通が容易な個体。現在好感度MAX状態。とはいえ、どこまでいってもモンスターなのであまり言うことを聞かない。

魔女の棲まう森

ねーねー
しるびー

ばれんたいん
ってなあに？

愛の証



説明



訝る



▲魔物専用軟膏



弱点



ム…

訝る2



企み



不相応な贈り物



▲ロリロラの包帯



贈り物の代償



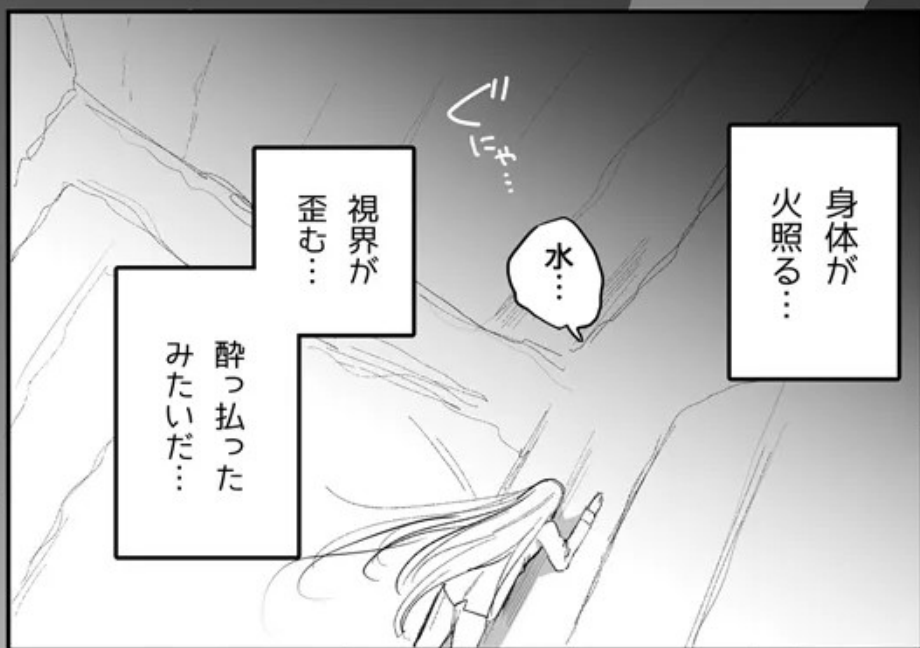
成功！





▲ホコリが主食なハウキの魔物





視界が歪む…

酔っ払ったみたいだ…

水…

身体が火照る…



う…



ぼるべるさん
大丈夫？



アルコールは苦手だと伝えておけば良かった…

チョコに酒でも入ってたのか？



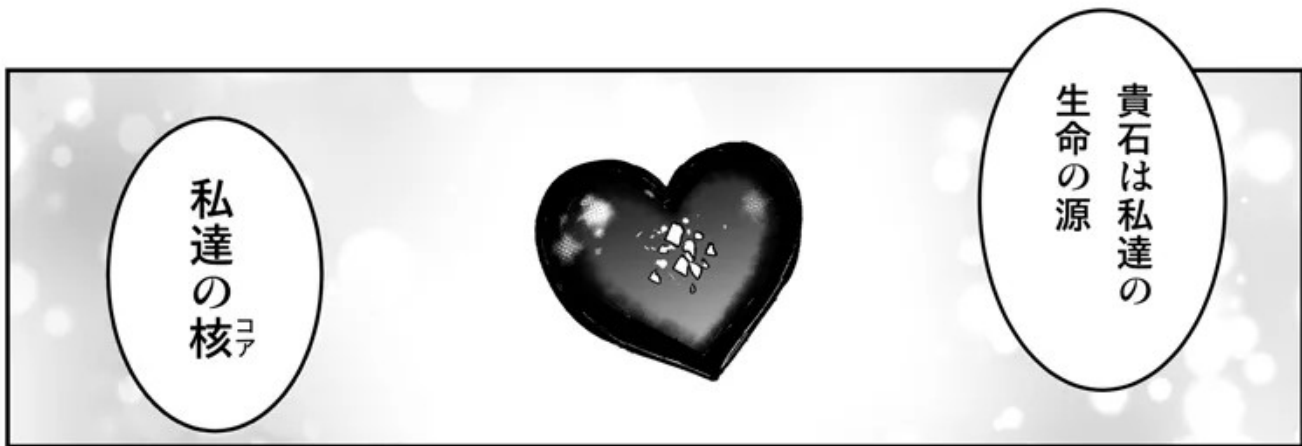
危ないから離れ…



ローラーか…

ローラー…





私達の核

貴石は私達の
生命の源



それを人が
取り込むと

感情も
感覚も

思考も
知能も

共有できる
ように
なるみたい

言葉が
思考が

頭に流れ
込んでくる――



は……？

そんな話
見たことも
聞いたことも……

だよね
私達もビツクリ
しちゃった

でも多分
一時的なもの
だと思うの

だから……



もっと
食べて

あ…

もっと
食べて



ひとつ
一緒に
なる？



人間と
魔物って

こんなにも深く
繋がれるんだ？

もしかしたら
人間同士以上の
繋がりがかも—

ね

ヴァル
ベルさん



るーり！…
るーら！…



脳に直接
伝わってくる…

好き…

好きだよ



好きだという
感情が

自分を欲する
気持ちか

あ…

は…

かわいい

好き



やめ…

大丈夫

私達と一つに
なるだけだよ



好き…♡



魔力吸収

ぐるぐる…

ぐるぐる…♪

魔力吸収

「好き」は
気持ちいい…♡

魔力吸収

「すき」は
きもちいこ

「気持ちいい」
は好き…♡

「きもちいこ」
はすき

魔力吸収

魔力吸収

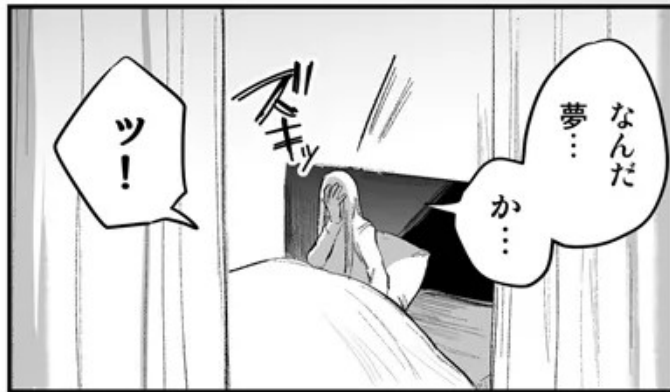
魔力吸収

んんんん

んんん

んんん

んんん





【薔薇色の貴石】

- ・ローリーローラーのドロップアイテム。
硬度が低く割れやすいため希少性が高く、高値で取引される。
一般に、宝飾品として売買、使用され、人間も魔物も愛用している。
- ・ローリーローラーの「生命の源」であり「核」のため、胸の石を砕くと一撃で倒せる。
- ・複数の「薔薇色の貴石」を砕いて固めて剣として販売されていることもあるが、
目もくらむような金額なことが常。
魔力を帯びた斬撃を放つことができ、攻撃力はかなり高いが壊れやすいため基本的には観賞用。
- ・まず食用、薬用としては使用されないが体内に取り込むと「魔力回復」として効果が出る。
…が微々たる回復量のため、薬草の方が余程コストパフォーマンスが高い。
- ・ローリーローラーからの信頼が厚い人間が摂取した場合、
感覚や知能などが一時的に共有されたり、媚薬のような効果が現れるらしいが、
データがごく少数しかいないため不明な点が多々ある。
- ・ローリーローラーより遥かに知能の高い人間が摂取した場合、
知能が分け与えられ、語彙や喋り方がより人間の少女らしくなる。

「わたしたちはこどもじゃないんだよ！」

「ちょっと「足りてない」だけで、なんとなく分かってるんだよ！」

だそう。